

## PPT 自動スライドの作り方

藤井

前回の例会で荒川さんが個人的に入手されました「PPTの自動スライド」を紹介されました。ファイルをクリックすると美しい BGM で綺麗な画像が次から次へと入れ替わっていくものでした。その作成方法がわかりましたので、報告致します。

複数のフォト（写真）ファイルと m p 3 などのオーディオ（音楽）ファイルが用意されているのが前提です。大きくは次の3ステップで作成できます。

- 1) 一つのスライドに一つの写真を貼り付けて、複数のスライドを作ります。このとき写真の大きさはスライドの大きさより大きくし、写真がスライドを覆うようにします。
- 2) スライドショーに装飾を施します。このとき、オーディオファイルも挿入します。
- 3) 通常 PPT はプレゼンテーションと保存しますが、今回は、プレゼンテーションでなくスライドショーとして保存します（保存の種類で PowerPoint スライドショーを選択します）。こうすることによってファイルをクリックするだけでスライドショーがスタートするファイルを作ることができます。

上記の1)と3)については簡単なので、これ以上の説明はありません。

以下、2)のスライドショーの装飾について説明します。

スライドショーには数々の追加機能があります。次の表のように大きくは「画面切り替え」と「アニメーション」に分けることができます。これらの追加機能によりスライドショーが装飾され、美しい写真をより美しく見せることができます。装飾なし（追加機能なし）でもスライドショーは機能します。


## スライドショー追加機能

画面切り替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドが対象。</li> <li>・チェッカーボードや漣など30種類以上の切り替えパターンが用意されている。</li> <li>・スライド毎に切り替えパターン、パターンの切り替え時間、パターンの保持時間、サウンド(爆発音、風の音など約20種類の短い音)が設定できる。</li> <li>・全スライド共通に切り替えパターン、パターンの切り替え時間、パターンの保持時間、サウンドが設定できる。</li> </ul>
アニメーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形やテキストボックスなどのオブジェクトが対象。</li> <li>・10種類以上の開始方法が用意されている。</li> <li>・20種近くの強調方法が用意されている、</li> <li>・10種類以上の終了方法が用意されている。</li> <li>・BGMなどオーディオファイルを挿入できる。挿入されたBGMはアニメーションの一つとして認識されている。</li> </ul>

以降、「PPT 自動スライド」の作成方法を示します。以下の説明は、BGM をつけ、全スライド共通の単一画面切り替えを行う場合です。

次図のような手順で画面の切り替えパターンを設定します。

## 画面切り替えパターンの設定



①画面切り替え  
リボン選択

②好みの画面切り替えパターンを選択

③サウンド無しを選択。  
自動的に切り替えにチェック、  
切り替え時間および継続時間は好みの時間を入力。  
全てに適用を押す(全スライドに適用する場合)

次に、オーディオファイルを最初のスライドに挿入します。その手順を以下の図に示します。

## 最初のスライドにオーディオファイルを挿入



①挿入リボンを選択

②オーディオボタンを押してオーディオファイルを挿入

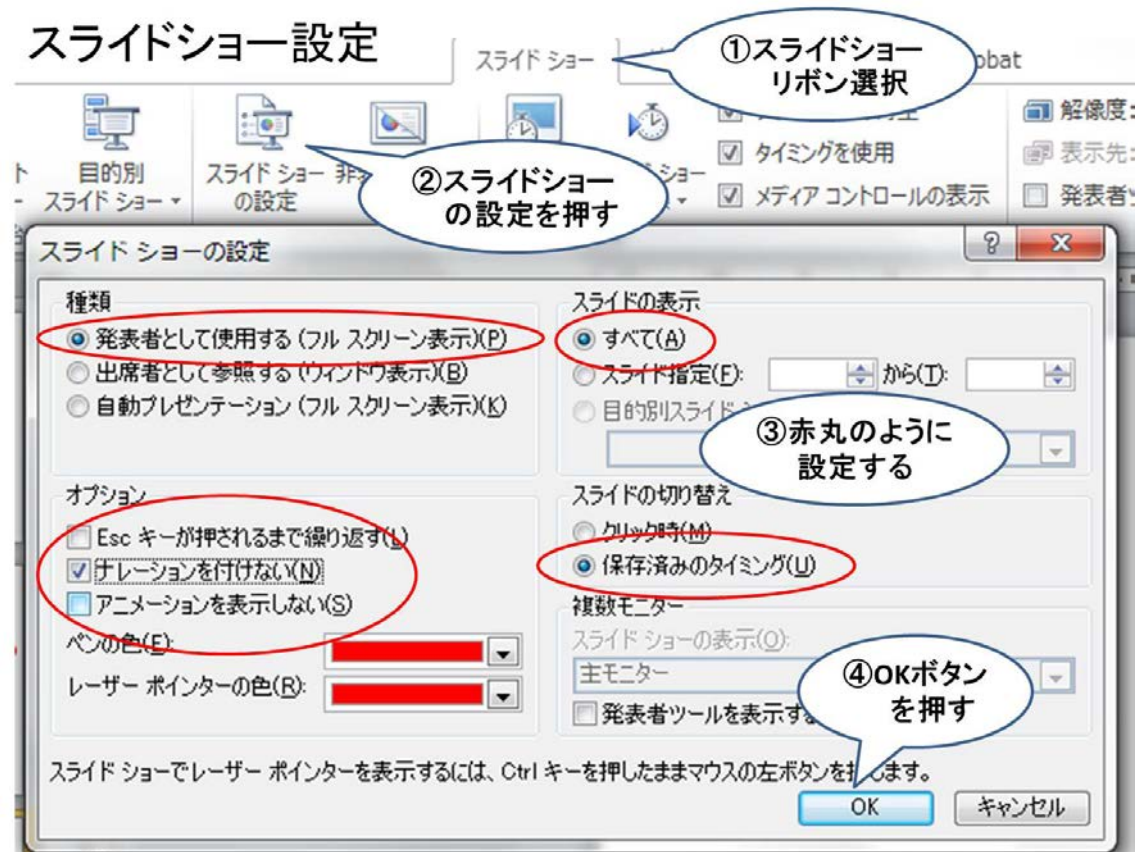
③オーディオファイルが挿入されたときに現れるサウンド・アイコン

挿入されたオーディオファイルの音楽が、スライドショーが行われている間、継続して流れるよう以下のように設定します。

## オーディオファイルを次のスライド以降にも有効にするための操作



最後に次のようなスライドショーの設定を行います。



「発表者として使用する」を選択することにより、スライドショーは繰り返しを行わず一回で

終了します。また、マウスの右ボタンでプルダウンメニューが呼び出せ、前後へのスライド移動やスライドショーの終了等が行えます。「自動プレゼンテーション」を設定しますとスライドショーを繰り返します。このときスライドショーを終了するには ESC キーを押します。アニメーションを表示しないにチェックを入れると音声が出なくなります。オーディオファイルを挿入している場合は、「アニメーションを表示しない」のチェックを必ず外してください。

以上